



平成 19 年 11 月 2 日

各 位

会社名 新 電 元 工 業 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 小田 孝次郎
 (コード番号 6844 東証第 1 部)
 問合せ先 経営企画室企画部長 田中 信吉
 (TEL. 03 - 3279 - 4431)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 11 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1)中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	49,400	2,200	1,700	900
今 回 修 正 予 想 (B)	48,800	1,000	0	△400
増 減 額 (B-A)	△600	△1,200	△1,700	△1,300
増 減 率 (%)	△1.2	△54.5	△100.0	—
(ご参考) 前中間期実績	49,830	2,228	2,062	1,171

(2)通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	102,100	6,100	5,200	3,100
今 回 修 正 予 想 (B)	100,000	4,000	2,500	1,000
増 減 額 (B-A)	△2,100	△2,100	△2,700	△2,100
増 減 率 (%)	△2.1	△34.4	△51.9	△67.7
(ご参考) 前期実績	102,054	6,051	5,114	2,646

2. 平成 20 年 3 月期 個別業績予想の修正

(1) 中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	45,600	900	1,100	700
今 回 修 正 予 想 (B)	45,900	200	300	400
増 減 額 (B-A)	300	△700	△800	△300
増 減 率 (％)	0.7	△77.8	△72.7	△42.9
(ご参考) 前中間期実績	44,915	755	1,285	585

(2) 通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	93,300	2,700	3,000	1,800
今 回 修 正 予 想 (B)	93,000	1,800	2,500	1,800
増 減 額 (B-A)	△300	△900	△500	0
増 減 率 (％)	△0.3	△33.3	△16.7	—
(ご参考) 前期実績	91,582	2,162	3,266	1,651

3. 修正理由

当中間期の連結業績につきましては、情報通信市場が厳しい状況にあるなか、デジタルAV機器市場や車載市場が好調を持続し、営業面では概ね計画線上で推移したものの、期末に製品補償損失として 11 億円程度を追加計上したことに加え、為替差損や投資有価証券評価損などの発生により、営業利益・経常利益ともに大きく予想を下回る見通しであります。その結果、中間純損益は損失に転じる見込みであります。

通期の見通しにつきましても、原材料費高騰や円高傾向の継続など概ね厳しい状況にあるなか、車載市場が堅調に推移する一方、デジタルAV機器市場の競争激化や情報通信市場の需要回復遅れなどが予想されており、上記のとおり修正することといたします。

このような経営環境を踏まえ、生産性の向上や成長分野への集中など、さらなる収益力の確保・品質向上に向けグループをあげて取り組んでまいります。

なお、中間配当金および期末配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、当初の予想どおりであります。

※上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる可能性があることにご留意ください。

以 上